

挫折や紆余曲折を描く『じぶん未来BOOK』が進学意欲を後押し

スクールデータ

生徒数 / 956人
(男子620人・女子327人)
普通科26学級
進路状況(2009年度) /
大学・短大進学81.9%、
専修進学4.2%、
就職16.3%、
その他12.3%

千葉県市十区ニ1-20
電話 / 04-7131-5611
URL / www.ryukei.ed.jp/

リクルートサービスを活用した指導実践例

流通経済大学付属柏高校は、サッカーやラグビーなどの運動部が、全国トップレベルの活躍をみせる強豪校。英語に力を入れているI類、スポーツ中心のII類、難関大学進学を目指すIII類と、3コースに分かれているが、主要な運動部の試合には全校生徒で応援に行き一体感を味わっている。2009年4月に、千葉県立千葉東高校からこの学校にきた進路指導部の川崎研一先生。キャリア教育を本格的に推進していくにあたり、まず大事なのは職業観の育成だと考え、10年4月に1年生全員で「R・CAP」を行い、その結果をもとに4月中旬に行われる2泊3日のオリエンテーション合宿で『じぶん未来BOOK』を使ったワークに取り組みだ。

あこがれの社会人との出会いが進路選びのヒントに

「生徒はまず、自分のなりたいたい将来像に近い人を探していました。意中の人が見つかったら、その人の高校時代に注目します。文理選択など、これから直面する進路選択の参考になっている生徒も多かった」

2 [1]で書いた仕事人a~dの中から、特に興味のある2人を選び、「夢をかなえた50人の仕事巡り」(18ページ)にあるその2人のインタビュー記事を読んで、下記を書き出してみよう。

| | | |
|-------------------------|---|--|
| ① 特に関心のある人、2人に○をつけよう | ②具体的な内容や、その仕事のおもしろいところや大変そうところを書き出してみよう。 ※例：著者/編集者センターは一日一冊を争う。看護学校は実習もレポートも厳格なところがある。 | ③「こんな風になりたいな」「カッコいいな」と思ふ印象的な文章を思い浮かべて書き出してみよう。 ※例：著者/編集者「ぼくが好きなことをもっとやりたい」といふ言葉がすごく印象的だった。 |
| a b c d | ●仕事内容 作家と打ち合っていて、本を編集する。 ●おもしろいところ 自分で作った作品がみんなの手に届くこと。 ●大変そうところ 売れなかったときの責任が大きいこと。 | ●仕事内容 「人の顔を見て生きていく、その人一番強い」といふ言葉が印象的。 ●おもしろいところ 僕もみんなと同じくらいのことをして、いいお給料をもらって学校を卒業していいなと思っていました。 |
| a b c d | ●仕事内容 生徒と心相談相手と、心の救済。 ●おもしろいところ 生徒の相談にのってあげられ、それが自分の成長につながる。 ●大変そうところ 相談にのってあげると、生徒が泣いてくること。 | |

興味のある登場人物の記事を読んで、印象的な文章を書き出すワークでは、編集者の「著者と編集者は2人3脚、どちらが欠けても本は作れない」という言葉と、学校教育相談員の「人の面倒をみるのができる人、その人が一番強い人」という言葉を書き出している。

『じぶん未来BOOK』を読む生徒



川崎先生は、『じぶん未来BOOK』の作業終了後、友だち同士でワークシートを見せ合い、感想を話し合うよう声をかけた。友達と自分の違いに気付いたり、共感したりして一体感を高めることも、やる気につながるかと考えてのことだ。



進路指導部
III類統括主任
川崎研一先生

いくら能力があっても上手にやる気を引き出してあげなければ、生徒は伸びません。日常的に声をかける、一緒に遊ぶなど、勉強以外にも積極的に関わって信頼関係を築くことが大事だと思っています。

その人の人生まで読み取れる内容の濃さに感動して採用

「高校3年間、ひたすら進学だけを目標に勉強しようとしても絶対息切れします。前向きに勉強をやり抜くためには、キャリア教育が欠かせません」と語る川崎先生。「R・CAP」と『じぶん未来BOOK』は、まだ将来のビジョンがほとんどない1年生の1学期に、仕事について考えるにはぴったりのプログラムだという。

特に『じぶん未来BOOK』の評価は高い。「ぐいぐい読ませる文章とカッコいい写真に引き込まれました。特に感銘を

受けたのは、挫折や紆余曲折を経て自分らしい働き方に辿り着いている人が多いところ。その人の人生までもが垣間見られ、「働き方II生き方」だと気づかせてくれます」。また50職種のパリエーションがあるので、進路が多岐にわたる同校でも、誰もが自分の目指す職業、あこがれに近い人を見つけれられると感じたそうだ。「ワークシートを使って作業感覚で読み進められるのもいいですね。今回書き写した気になるフレーズは、ずっと生徒の記憶に残り、やる気を持続させる。燃料になると思いました」。

「R・CAP」を活用し体系的なキャリア教育を实践

10年度、生徒は「R・CAP」の検査結果を挟んだファイルを、それぞれ自宅に持ち帰った。11年度からは「文理選択」「学問研究」など、「R・CAP」についているその他のワークシートも実施し、これを学校で管理する予定だ。「それに加え学校独自のワークも随時実施し、すべてを「R・CAP」のファイルに挟み、進路資料として活用したいと考えています」。